

学校関係者評価報告書

愛媛県立三瓶高等学校

評価実施日		平成 30年 1月 30日 (火)	
委員	氏名	所属等	備考
		学校評議員	
		学校評議員	
		学校評議員	
		学校評議員	
		学校評議員	
		学校関係者評価委員	
		学校関係者評価委員	
		学校関係者評価委員	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p>1 学校運営等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域行事への積極的な参加では、「奥地の海のかーにばる」での「カンナフラワー講習会」や「高校生によるジオガイド」などすばらしい活動ができた。 ○ 公民館等へも学校だよりを配付されており、町民に広く学校の様子を公開されている。また、ホームページを毎日更新し、三瓶高校の情報を地域はもちろん県内外に発信している。 ○ マニフェスト等の数値目標で「笑顔であいさつ 100%」があるが、地域の子供たちと小さいときから関わりを持ち挨拶ができる人に、地域で育てなければならない。 ○ 学校評価アンケート調査で「子どもを三瓶高校へ行かせて良かったと思いますか?」について95%の保護者が良かったと回答している。進路指導をはじめ、先生方のご努力は、たいへんありがたいことである。 <p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 皆勤率が2学期末現在で52%とここ最近では一番低い数値になっている。 ○ 中学生1日体験入学では、47名の参加を得た。体験授業で、Wi-Fi教室でのスターティアプリ体験を全参加者に実施した。 ○ 個に応じた学習指導に取り組んでもらっており、さらに継続して実践して欲しい。また、学習時間の確保もお願いしたい。 ○ 生徒アンケート結果で「家庭学習が十分にできていますか」について、約4割の生徒があまりできていないと回答している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 更に地域に密着、貢献できる学校づくりを進める。 ・ 三瓶高校・三瓶高校生の良さをHPなどで積極的に公表する。また、生徒・保護者、地域の人にも活用しやすいHP作成に向けて、その改善を図る。 ・ 家庭クラブや総合的な学習や生徒会活動などすべての教育活動で生徒に自信を持って活動させ、誰にでも挨拶できるよう頑張らせた い。 ・ 保護者や生徒の目線に立って、そのニーズに答えるべきところは答えていき、様々な活動をして三瓶高校に入学したいと思えるよう魅力ある学校にしたい。 ・ 体調管理に努め、毎日の学校生活が充実したものになるように目的意識を持たせたい。 ・ 学校説明会や中学生1日体験入学など機会がある度に、啓発したい。 ・ 小規模校のメリットを生かし、一人一人の生徒の個別指導を図り、さらなる学力の向上と確かな進路実現に努めたい。 ・ 予習・復習や課題学習を徹底させ、家庭学習時間の確保と生徒が学習内容を理解できるように努めたい。 ・ スターティアプリのより一層の活用も図りたい。 	

3 生徒指導・安全指導・特別活動

- 総体出場35名は出場率では大変高くよく頑張っている。また新人戦も団体競技は全部が県大会に出場するなど少人数ながらよく頑張っている。
- 邦楽部の全国高等学校総合文化祭出場をはじめ、美術部の「カンナフラワー制作」、「えひめ愛顔の子ども芸術祭 奨励賞」など文化部の頑張りも大いに三瓶高校を盛り上げている。
- 幼稚園との交流学习をありがたく思っている。以前とは違う現状の中で、今後も継続して欲しい。

4 進路指導

- 今年、国公立大学へ進学する生徒がいないのは残念である。普通科である以上、進学保障が大切である。更に日常の学習へのサポートを継続して欲しい。
- 看護・医療系への進学が多いようである。地元の企業における三瓶出身率が低くなっている。四年生大学(経済・法学部)への進学も増やして欲しい。

5 人権教育

- 学校評価アンケート調査では、良くできているの評価が昨年度と比べて減少している。

6 保健・安全管理

- 学校評価アンケート調査では、事件事故、災害、不審者の侵入時の救急等で、自分の役割が把握できているが95.2%となっている。この項目については100%になるようにすべきである。

7 事務

- 迅速かつ適正な事務処理の改善がなされており、安全対策としての爆裂補修工事や体育館や教室等のLED照明取替工事などスムーズに実施された。

8 地域との連携について

- 「奥地の海のかーにばる」「河川清掃活動」をはじめ、地域行事に三高生の力は欠かせないものとなっている。今後も、是非継続していただくとともに、さらに地区行事への高校生の参加(ボランティア活動)を促していただきたい。

9 その他

- 社会に出たときは、生徒達の自主性・積極性が問われると感じる。勉強や生徒指導などのマニュアルも大事だが、自主性や積極性を育てる教育を更に継続して欲しい。
- 三瓶高校に寮があれば、「ジオパークに関心がある生徒を呼ぶ」とか「野球をしたい生徒を呼ぶ」とか何かに特化した取組ができる。

- ・少ない部員ながら、各顧問の先生が熱心に指導している。教員数の減少もあるが、入学する生徒にやりたい部活動をさせてやれるよう配慮したい。
- ・三瓶高校の魅力を地域内外に一層アピールできるよう今後も努力したい。

- ・三瓶幼稚園との合同避難訓練や家庭クラブの交流学习など地域に貢献できる活動をこれからも目指したい。

- ・個々の生徒の必要に応じ、マンツーマン指導やスタディサブリの活用を含め、日常の学習支援を継続して充実させる。
- ・進学・就職ともに将来やりたい職業に就くために、高校生活で高い目標が持てるよう、1年次より生徒や保護者への進路啓発を充実させたい。

- ・日常生活の中で人権意識を自らの課題として高める指導や啓発を継続して実施したい。

- ・防災・防犯・地震・不審者対策での自己の役割を把握できるよう訓練での組織分担を明確にしたい。防災マニュアルについても実効性が高まるよう今後検討したい。

- ・環境整備と安全管理を徹底し、修繕箇所の早期発見、早期対応を図る。

- ・過疎化、高齢化が進む地域のなかで高校生の力は地域を起す原動力として欠かせない。関係機関と一緒に貢献の在り方について協議し、今後更に地域の要望に応えられるようにしたい。

- ・日頃の校内活動以外にも、生徒の持つ力が発揮できる諸事業に積極的に参加させ、成長させることで、三瓶高校の良さをアピールし、自主性や積極性のある生徒を育てたい。

- ・市や町と協力体制を整え、生徒を確保し、三瓶高校存続と魅力化につなげたい。また、宿舎を確保し、生徒の全国募集にもつなげていきたい。